

「マレーシアのイスカンダル計画」

シンガポール駐在員事務所
島 宗辰

「イスカンダル計画」と聞いてどのようなイメージが頭に浮かびますか？SF映画に出てきそうな名前なので、宇宙に関する壮大なプロジェクトを想像された方がいらっしゃるかもしれません。実は「イスカンダル計画」とは、シンガポールの対岸にあるマレーシアのジョホールバル州で行われている巨大都市開発計画の事であり、今回はこの計画を紹介します。

まずはジョホールバル州についてですが、皆さまは「ジョホールバルの歓喜」という言葉を耳にしたことがあると思います。日本が初めてサッカーのワールドカップ出場を決めた試合がこのジョホールバル州で行われました。そう、あのジョホールバルが今回のテーマである巨大開発計画の舞台なのです。

ここから開発計画の内容について説明します。以下の表は2005年(計画開始時)の数値と2025年(計画完成予定時期)の計画目標です。(イスカンダル地域開発庁の資料より筆者作成)

	人口	GDP	1人当たりGDP	雇用	失業率
2005年	140万人	200億米ドル	14,790米ドル	61万人	3~4%
2025年	300万人	933億米ドル	31,100米ドル	142万8千人	1.8%

この目標を達成するために、イスカンダル計画では、サービス業優先投資分野として「物流」、「観光」、「ヘルスケア」、「教育」、「金融サービス」、「クリエイティブ産業」の6分野、製造業優先投資分野では「電機・電子」、「石油化学・油脂科学」、「食品加工・農産品」の3分野で、累積投資額10兆円を目指しています。実際に「教育」分野では、多くの有名インターナショナルスクールの開校が進んでいます。

イスカンダル計画はマレーシア単独のプロジェクトではなく、シンガポールに近いその立地から、シンガポール政府と協力し開発を進めています。シンガポールは国内の労働人口・土地の不足、人件費高騰等の問題を抱えており、マレーシアをシンガポールの製造補完地として考えているようです。

2026年にはシンガポール・マレーシア間高速鉄道プロジェクトが完成予定であり、両国の距離は更に縮まっていく見通しです。

2025年のプロジェクト終了まであと7年、日本では見る事が出来ない超大型プロジェクトの進捗に今後も注目していきたいと思います。



シンガポールとジョホールバルの位置関係



工場が立ち並ぶ工業団地

(写真は筆者撮影)

(2018年4月16日現在)1804